

令和 5 年 第 6 回日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会議事録

日時：令和 5 年 11 月 17 日 7:00~8:00 会場：web(zoom 会議)

参加者：吉田剛委員長 竹下克志 理事 今釜史郎 アドバイザー 川端茂徳 後迫宏紀 船場真裕 森戸伸治 高橋雅人 山本直也 安藤宗治 田所伸朗 中西一義 橋本淳 安田明正 中島宏彰 世木直喜 山田圭 重松英樹 和田簡一郎 谷口慎一郎 高谷恒範 各委員（敬称略）

欠席：松山幸弘 アドバイザー 岩崎博 寒竹司 藤原靖 小林和克 黒須健太 各委員（敬称略）

#### ■議題 1：2023 年度認定医審査結果および 2024 年度教育研究コースについて

- ・認定医審査の結果、40 名中 38 名が合格(95%)となった。次年度は JSSR の教育研修コースにてレポートの書き方に関する 30 分の講義を行う。モニタリングレポートに関する注意点についてはホームページに掲載する。
- ・2024 年 4 月 20 日（土）横浜にて JSSR 教育研修、第 IV コース（モニタリング脊椎脊髄病研修コース）が開催される予定である。講義 1.脊髄モニタリング総論を小林和克先生、講義 2.運動系・感覚系モニタリング各論を高橋雅人先生、講義 3.脊椎脊髄手術モニタリングのアラームポイントと合併症対策を吉田剛先生が担当することとなった。試験監督は吉田剛委員長、後迫宏紀、黒須健太、各委員が担当することとなった。
- ・試験問題は去年と同様に 30 問を予定しており、pool 問題 20 問（66%）、新規問題 10 問(33%)とし、新規問題の作成期限を 2023/12/25 とした。2024 年度問題作成（5 名×3 問；一般問題 1 問，症例問題 2 問）；寒竹司、和田簡一郎、小林和克、船場真裕、世木直喜、各委員。2024 年度ブラッシュアップ；吉田剛委員長、岩崎博（お纏め役）、安藤宗治、中西一義、高橋雅人、重松英樹、後迫宏紀、黒須健太（zoom 担当）、各委員。

#### ■議題 2：認定医更新に関する指定学会、単位取得の講義に関して

現状では脊髄モニタリング認定医の継続のために日本臨床神経生理学会または日本脊髄機能診断学会の学術集会の参加証を提出とする。日本脊椎脊髄病学会および日本臨床神経生理学会にて資格継続のための講義を検討する。また、日本脊髄機能診断学会や日本脊髄障害医学会にて、講義を行うのはどうかと提案あり。

#### ■議題 3：データベース委員会からのモニタリング登録の問題点について

症例；脊髄モニタリングを実施し術直後の麻痺が無く、その結果が真陰性や偽陽性だが、周術期合併症として術後に麻痺を認めた。このような症例をデータベース上どのように扱えばよいかと委員会から連絡があった。  
返答；術直後は麻痺なく、遅発性麻痺や術後血腫例などが考えられるのでデータベースとしては問題ない。

#### ■議題 4：2017-2022 年度のモニタリングデータの再修正について

2017-22 年における真陽性および偽陰性の症例に関してデータの再確認を依頼し、修正版を作成した。  
依頼した内容；①新規麻痺が術前筋力まで回復が得られたかどうか ②腫瘍の病理結果（腫瘍名） ③麻痺筋の再調査；MMT 評価ができていない場合には不明と記載 ④最終 follow-up 時の MMT  
その他；側弯症 AIS に分類されている症例の内、20 歳以上は側弯症成人に修正。一部 outcome の修正あり。

■議題 5：研究進捗、研究内容収集について；下記 3 委員からのモニタリング研究進捗があった。奈良医大 重松先生、名古屋大学 世木先生（転移性腫瘍に関するデータ再収集）、森町病院 後迫先生。海外発表抄録登録における共著者については、各個人の COI 報告が厳格になっていることから学会参加予定の委員に限定してもよい。

#### ■議題 6：次回委員会日程、その他

次回開催予定日：2023/2/2（金）19:00-20:00（脊髄機能診断学会前日、久留米市にて；Zoom meeting 併用予定）

以上